

香川自治会主催 茅ヶ崎・地引網大会開催

(ふれあい部会長 高橋百代)

香川自治会主催による「第21回地引網大会」を5月6日に実施しました。

今までお世話になった網元さんが廃業してしまった為、今年度はカネサ網にお願いして一年ぶりとった地引網。

当日は朝から天気良く、絶好の地引網日和だと思っただけですが、「波が強くて、網が引けない。」という網元さんの判断により地引網は中止になりました。自治会長と相談の上、参加費はとらないで開催することに決定しました。

楽しみにしていた地引網が出来ないのは残念でしたが、元気いっぱいの子供達には砂の中からカードを探す宝探し大会を、

大人の方にはフラフープを使った輪投げ大会を、各々楽しんでいただく事が出来ました。

風が強くなっていく中、広い砂浜は笑顔と楽しい笑い声に包まれました。また大鍋で作った豚汁は波の音を聞きながら食べるとより一層おいしく感じ、心もお腹も満たされた楽しいひと時を過ごして頂けたと思います。

地引網が終わりに近づくとつれ、風が猛烈に強くなり、「テントが倒れる心配があるー」という網元さんからの助言を受けて、閉会式、撤収を迅速にして下さった皆様のご協力に感謝いたします。「来年は、地引網、出来るこいなあ。」



環境学習会開催報告

環境部会 野島勝生

今回の第2回目は、5月21日の日曜午前に設定し、市職員が不参加のため、環境部会員の手持で行うことを決め実施しました。

目標は50名の参加者を期待しましたが、28名でした。ただ、アンケートで64%の方に「良かった」との感想を頂きホッとしました。

また、具体的な意見・提言もいただきました。まず「第2弾第3弾を期待する」や「ごみ問題のことが良く分かった」、「日頃の悩みが、随分解消できた」、「多くの方に聞いて欲しい」など、改めて参加者の方々も悩まれていることが確認できました。更には、「年度初めの組長会議などで話されると効果が上がるのでは」、「等大変参考になるご意見も頂きました。

今回の学習会は、

1. ごみ出しの役割分担の確認
2. ごみ集積所の確保と管理は住民相談や設置の支援等は自治会
3. ごみの回収、啓発等は茅ヶ崎市資源物とその他の分別方法
4. ごみ集積所の改善によるクラス防護策と管理方法の改善

これからは、今まで以上に「井戸端会議」ならぬ「ごみ集積所会議」をご近所同士のコミュニケーションの場として生かしてください。クラス防護やポイ捨て防止が期待されると同時に、災害時などに備え一層の絆が生まれます。

以上、これからも「環境学習会」を行いますので多くのご参加をお待ちしています。

また、環境部会員14名、鋭意活動を行っています。お気軽に部会員にお問合せ下さい。

香川ごみ通信 12

環境部会長 宮田 義男

ごみ置き場の改良

三方をコンクリートで囲ったごみ置き場では、きちんとコの字になっていないことが多い。その場合は写真のように木枠を作りネットの先端に棒を取り付け、上面で棒をスライドできるようにする。この方法ですと5か所位補修を行い全く問題なく使用されている。

次に道路わきにごみを並べるタイプは、壁に取り付けられたネットの先端部分を、

の棒を重くしてネット全体に張りを持たせるようにする。ネットとごみを密着させないように、更にネットの



一人ひとりの「感動」と「勇気」を大切に！

ともに伸びる仲間に「感謝」し、「希望」を持って生きる

創立50周年を迎える鶴が台中学校に着任された伊藤先生に、簡単な自己紹介と教育方針、地域との関わりについてお聞きしました。



鶴が台中学校 伊藤 盛人校長

みなさん、こんにちは。創立50周年を迎える鶴が台中学校に着任しました伊藤です。この記念すべき年に本校に着任できたことを光栄に思います。

NEWS 最近の自治会活動から

第一回自主防災会役員会開催

防災の取り組み強化の対応として、香川自治会の自主防災規約および運用細則について、6月の定例役員会において第一回目の検討を行い、7月にも継続開催することとなりました。

避難行動要支援者名簿運用説明会 東日本大震災の後に改正された災害対策基本法では、災害時に避難等に関して支援が必要な方を避難行動要支援者として定め、名簿作成等が市町村に義務付けされました。

これを受け、市では7月の初旬に3回に分けて名簿の運用説明会を実施するので、香川自治会は各町内会ごとに数名参加します。 浜降祭への対応(7月17日) 昭和53年に神奈川県無形民俗文化財に指定され、57年には「かながわのまつり50選」にも選ばれたイベントが実施されます。

香川自治会は文化資産の継承の面からも人材・費用の面にわたって支援をしています。

四月当初、新しい学校に着任という事で私自身、多少の不安を感じましたが、始業式で見た生徒の明るい表情に一瞬で不安は解消されました。一人ひとりがしっかり前を向き、私の話をひとことも漏らさず聞く姿勢が大変立派でした。また、登下校時や休み時間にも率先して挨拶する生徒の姿勢に心が洗われる思いです。

台中生が親しみをこめて挨拶ができるのは、毎朝、学校の周辺を掃除していただいたり、正門に立つて挨拶をしてくださったり、近隣十字路の交通整理や校内イベント

ランス付近の花壇の手入れなど、地域の方々の温かいご支援があればこそだと感じています。誌面を借りて御礼申し上げます。

10月13日(金)には、創立50周年記念式典を予定しています。よろしかったら、足をお運びいただければと存じます。

今後とも、鶴が台中学校の発展にご協力お願いいたします。

めざす学校像

▼生徒が学び喜び、生きる喜びを感じる学校

▼保護者、地域から信頼される学校 ▼教職員が成長し続ける学校